

郷土こぼれ話

地域の神様 清安寺と地域の神様

① 薬師堂

薬師堂本尊薬師如来は、恵心の作で高さ80センチ程で、木彫に金泥が残ると伝えられている。熊谷次郎直実の長女玉都留姫の守護仏である。清安寺が廃寺になるとともに現在の地に移された。



薬師如来

② 熊野神社

新編武蔵風土記稿に、熊野神社は清安寺持と記されている。別の資料には、明治41年八幡大神は同地内の熊野神社・磯崎社・八坂神社・諏訪神社の4社を合祀した。「埼玉の神社」その後年代は不明ながら、熊野神社は現在の地に戻されている。中には熊野本宮大社の御玉串が奉納されている。



熊野神社の扁額

③ 養平寺

福王寺の本尊毘沙門天は、熊谷次郎直実の娘玉都留姫と千代鶴姫の守本尊であった。明治初年福王寺が廃寺となったため、毘沙門天は養平寺に移されている。



毘沙門堂

④ 清安寺跡

国道407号沿いにある熊谷消防本部と、原島の八坂神社の間、八坂神社寄りに清安寺塚と今も呼ばれている場所がある。篠が鬱蒼としているこの場所は、かつて清安寺があった場所といわれている。田畑の中の塚なので、遠くからの確認で済ませたいところである。

⑤ 福王寺跡

きれいに管理されている墓地で左側の自然石に、「熊谷次郎直実娘玉都留姫の墓」と書かれている。(経年に伴い現在は確認できない) 寛喜3年8月3日。福王寺があった場所は、現在個人が管理する墓所になっている。



玉都留姫の墓(左の石)

文・写真：むらた ひとし

参考資料：新編武蔵風土記稿 新編熊谷風土記稿 他